

【公園管理棟編】

このシートは、

2020

調査実施分

No.

158

2019

ファシリティコスト分

58,147 人

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和2年度

施設名	ふれあい公園管理棟		
-----	-----------	--	--

大分類	公園	中分類	公園	施設番号	158
-----	----	-----	----	------	-----

所管部課	都市整備課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	中の沢266番地2外 (東部)	敷地面積	13,813 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和61年度
建物構造	W	延床面積	112 m ²	経過年数	34年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	36,960千円	法定耐用年数	15年	市民1人当たり更新コスト	636円/人

3 管理運営データ

利用状況	H29年度	H30年度	R1年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	指定管理者			
ファシリティコスト 平成31年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費	-		-		火災保険料	-
		道費	-		-		維持管理委託料	-
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	47		-		工事請負費	-
	合 計		47		-	その他維持費	-	
						小 計	-	
	②施設運営コスト					②施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	47
			運営委託料	-				
			その他運営費	-				
				小 計	47			
				合 計(①+②)	47			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人		1円/人		420円/m ²			



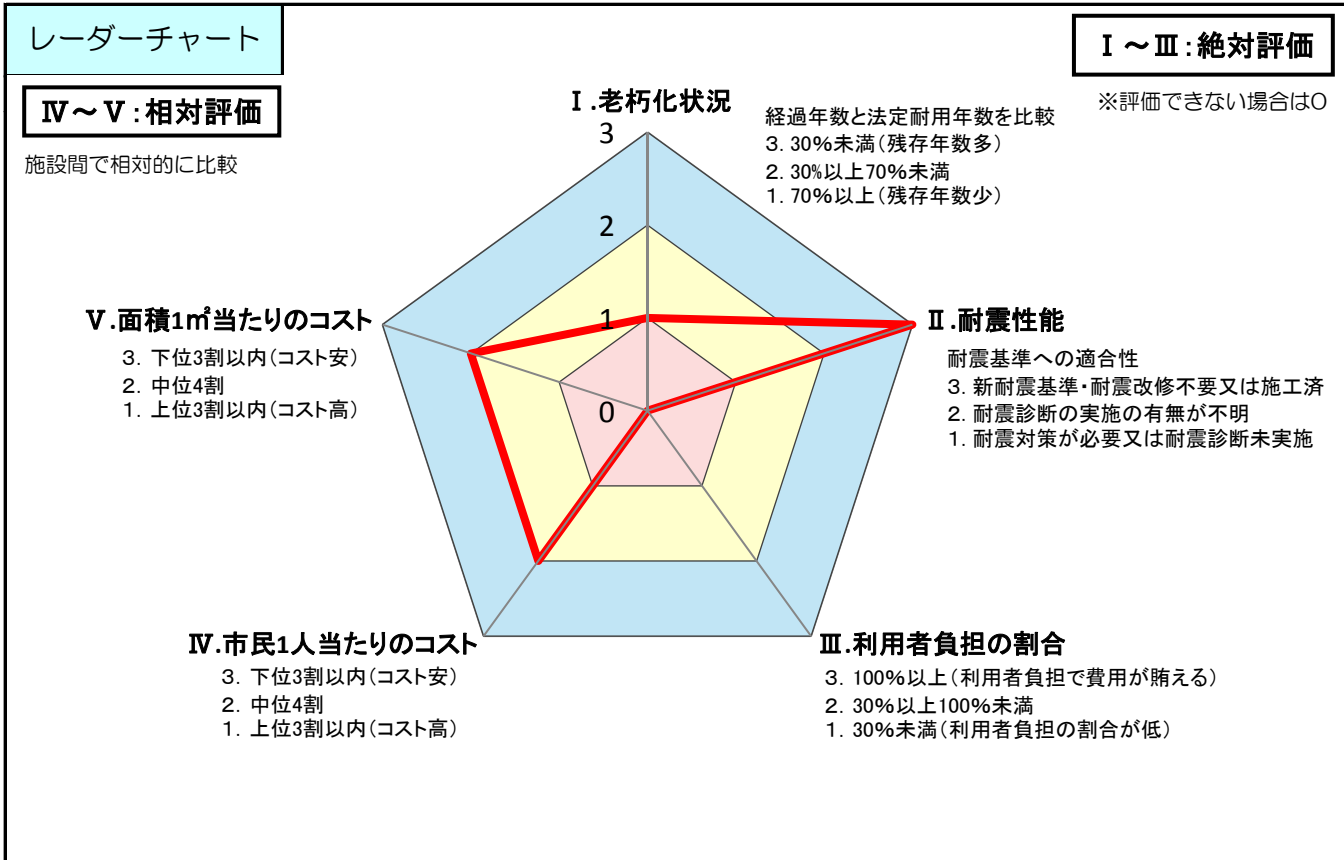
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H22	シャッター鍵交換	29			
H29	外壁修繕・塗装	351			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	227 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	420 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

このシートは、

2020

調査実施分

No.

159

2019

ファシリティコスト分

58,147 人

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和2年度

施設名	きたひろサンパーク管理棟		
-----	--------------	--	--

大分類	公園	中分類	公園	施設番号	159
-----	----	-----	----	------	-----

所管部課	都市整備課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	富ヶ岡237番地1外 (東部)	敷地面積	128,528 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-		建築年度	平成10年度	
建物構造	W	延床面積	175 m ²	経過年数	22 年
階数(地上)	1 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	57,750 千円	法定耐用年数	15 年	市民1人当たり更新コスト	993 円/人

3 管理運営データ

利用状況	H29年度	H30年度	R1年度	平均利用者数	管理形態			
		15,479 人	11,825 人	12,430 人	13,245 人	指定管理者		
ファシリティコスト 平成31年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	修繕料	-
		国 費		-		火災保険料	-	
		道 費		-		維持管理委託料	-	
		その他		-		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)		14,576		工事請負費	-	
	合 計		14,576		その他維持費	-	小 計	-
					②施設運営コスト	人件費	-	
					光熱水費	-		
					運営委託料	14,576		
その他運営費					-			
				小 計	14,576		合 計(①+②)	14,576
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1㎡当たり			
単位コスト	1,100 円/人		251 円/人		83,291 円/㎡			

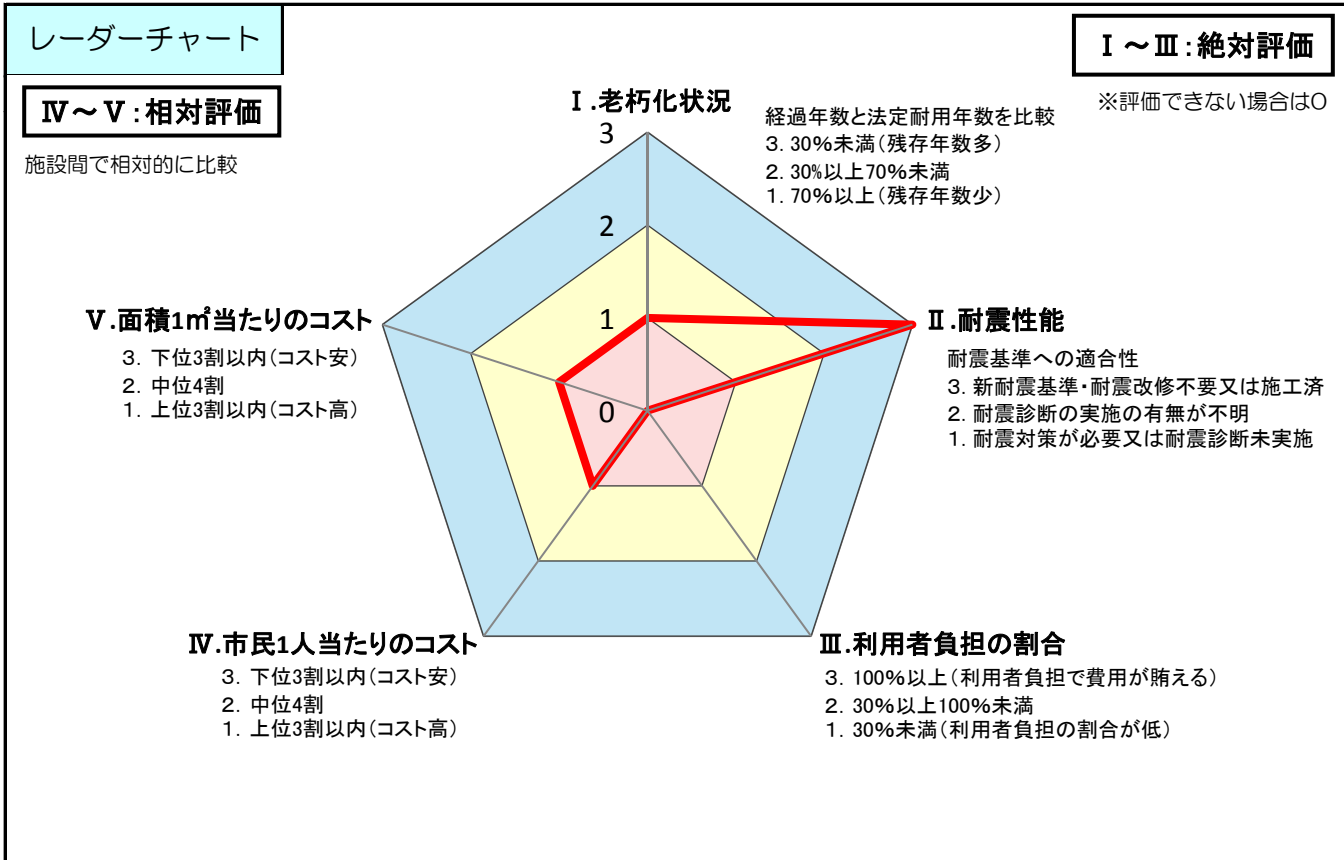
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H23	シャッター鍵交換	17			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	147 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	251 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	83,291 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	